

石原

四郎右衛門藤原昌明ミチノブの豊後守守守モリモリ云々

二男形カタマタの世々武田家にはつゝ兄と次郎

右衛門守昌と云々天正十年信濃國葦原

田中戦小討死甲斐昌明甲斐甲斐小生寛永譜

按之り小家傳にハ清和源氏よりして石原大和守茶貴より四代と
豊後守茶尚其子と豊後守茶昌と云々昌明ハ其男より云々之
つゝ是と石原左之助正通新十郎正利等より家傳小方より小彼
家と又茶貴より後より云々小時ハ其祖と同く云々又石原
政八郎政存より祖と豊後守政成其子小豊後守政名と云々小者
是之石原孫時義陳より家傳と其祖孫助其ハ豊後某より二

代とてこれより時ハ其の家と改存ル家と同祖兄弟か
るること義陳ル祖も豊後某ク二代とてより見れば又
同祖の家なるに似たり今名家兵傳と先ふどり詳るる
とて家譜小ソ然ハ三々々甲斐國志小云々

とてめ源太郎とて家譜武田信玄を

よひ勝頼小つ久々公事奉行たり

天正十年勝頼没落七月

東照宮甲斐國小つて世終ふ時寛永譜駿

河國江尻小つてとてめとて肉とてえたて

まつり寛永譜同年十二月甲斐國塚原を

よひ慈恩寺とて等々とてやて二十

五貫文の地とて宛行くるへとて日下部

と右橋定好とて奉りて證文とて共

へまて同國に奉領四十貫文の地相

透あるまてとて成瀬右橋つて二

及び日下部定好とて連名の證状とて共

とて家譜とて釣命小つて甲斐國の公事

奉行と勤心寛永譜同十

八年關東に……せ終ふ時仰と奉り

てと總國の制法と沙汰と慶長五年

甲府城に留守居と勤家譜同十二年

七十八歳に……て死寛永譜按らるる家傳
甲慶長十二年正月廿二日

七十二歳少……て死……あり……
甲斐國志お八十二年四月廿二日に他る
法名源空といふ

其子四郎右衛門安昌あやひハ……め藤太郎と

いひ……家譜甲斐小生れ寛永譜慶長十二年

十歳に……て遺跡と継同十八年大番と

るり家譜大坂西の方津陣小供奉寛永譜

元和五年より釣命小よりて駿府城

と守衛家譜東武實録寛永二年駿河大納言

忠長卿小附屬せ……東武實録采地二百七十

石餘と賜家譜按らるる小寛永譜……忠長卿……
八年の死より十二年推考……
八の如……忠長卿寛永元年駿河及び……
領地五十万石賜り……
説……
寛永

八年……二十三……て駿府小……

死

寛永議 按より小家傳小寛永九年二月廿二日二十四歳にて歿す

法名宗然

とつ小其子四郎右衛門

安吉

按より小家傳小春昌小伝

こゝめ辰之助権平とつ忠長卿小

法之御事あるは後慶士とらりその

後のされ

大猷院殿小はたてまつり寛永十九年

大番小列ひ時小十五歳より同二十年

上總國望まうと院郡むら小とつ采地二百

七十石餘と賜ふ

家譜 今の所小住理石原惣右衛門廣寛と祖より